

## 「小早川伸木の恋」特設掲示板

紺野まひるさん出演のドラマ、「小早川伸木の恋」に関する掲示板です。  
ドラマ全体についての感想(脚本、演出、その他)など、どうぞ語り合ってください。

名前	<input type="text"/>
Eメール	<input type="text"/>
タイトル	<input type="text"/>
本文	<input type="radio"/> 改行無効 <input type="radio"/> 改行有効
	<div style="border: 1px solid black; height: 150px; width: 100%;"></div>
	<input type="radio"/> 本文中にURLがあれば自動的にアンカー(リンク)にする <input type="radio"/> タグ( 1)を有効にする(投稿前に表示確認を)
暗証番号	<input type="text" value="3497"/> この記事を削除するためです(変更可能)
<input checked="" type="checkbox"/> 設定保存 <input type="button" value="投稿( 1)"/> <input type="button" value="確認( 3)"/> <input type="button" value="× リセット"/>	

- ( 1) 使えるタグは <B>(強調) <I>(斜体) <U>(下線) <FONT>(装飾) <A>(アンカー) のみです. 閉じ忘れに注意.
- ( 3) 投稿後30分以内であれば編集(修正や画像追加)が可能です.

全 37 件 [ [1](#) ] [ [3 4](#) ] [ [最新の状態](#) ] [ [「永遠のヒロイン 紺野まひるのページ」へ戻ります](#) ]

ページ 2 (11 ~ 20)

## サウンドトラック・その2

引用 返信 編集

2006/4/2 (日) 22:36:58 - 投稿者: サトミュウジ - <UHH32929@nifty.com> -  
ntkngw059038.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [219.97.24.38] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143985018

4月2日付け朝日新聞の33面のTVダイアリーというコラムで、テレビや映画の音楽を手がけている大島ミチルさんのことがとりあげられています。それによると、テレビドラマの場合、最終回までの台本ができていないのがほとんどで、その後の展開を予想しながら、作曲しなければならないそうです。確かに大変なことだろうと思います。昨日紹介した「小早川伸木の恋」のサウンドトラックですが、この中にある「妙子のテーマ」、「美村のテーマ」、「見えない抑圧」という3曲が、共通の主題に基づいているように、私には聞こえます。「妙子のテーマ」の楽器の使い方はエクソシスト(超古い映画で恐縮です)のテーマ曲を思い起こさせます。最終回まで台本が固まっていたら、あるいは違う音楽になっていたかもしれません。

第1回、「なおえ」ではじめてカナが登場するときに流れているのが「カナのテーマ」、そのあと伸木のケータイが震えるところで「妙子のテーマ」に変わります。録画をまだ消去してないかたは、聞いてみてください

## 高見沢恭子と作田カナ・再論

引用 返信 編集

2006/4/1 (土) 17:15:51 - 投稿者: サトミュウジ - <UHH32929@nifty.com> -  
ntkngw059038.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [219.97.24.38] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143879352

「紺野まひるさん応援掲示板」のちょっと前の投稿を読んでいたら、国やんさんご自身の「高見沢恭子と作田カナ」と題する投稿が見つかりました。日付からすると、「小早川伸木の恋」の第2回が放送されて間もないころですね。私はまだその掲示板にたどりついていませんでした。私は「結婚のカタチ」は見えていないので、このようなタイトルについて論じる資格はないのですが、いまだに作田カナにぞっこんの私には「？」となる記述がありましたので、ちょっと...。「小早川先生を奪おうとしている」という記述

です。別にケンカを売るわけではありませんので、お気楽に。

確かに、男の浮気心を誘発するような所作がたくさんあります。初対面なのに、上目遣いで「私、小早川さんのこと、好き」と言ったり、「動物の気持ちがわかるなら、嫉妬もするはずだ」とか「あなたはカモノハシなんかじゃない」とかいうためにわざわざ電話をかけてきたり、「私、魅力ある？」といったり、「友達の先になにかがあるか見てみる？」と言ってみたり…。こいつ、悪い女じゃないかと思ったむきも多々あるかと存じます。そのころ、私は原作を読んでいませんでしたが、カナが伸木を奪い取ろうとしていると見たことはありません。ずっと孤独に生きてきて、やっとこの世界でたった一人の友達をみつけた、というのと、男と女の関係なんていう面倒くさいのはいやだ、というのを、なぜかそのまま信じ込んでいました。私もあなたを一目で好きになりましたというシグナルをさかんに送り込んでいたのだと、好意的に捉えているのですが、いや、そもそもそれが悪い女の証拠だといわれたら、あとは何をかいわんや、です。その後の展開は、決して奪おうとなんかしていなかったことを証明しています。第2回終了時での感想を云々するのはいかがかと存じますが、大好きなカナの名誉のため、あえて。

それにしても、同じ理由で二度身を引くというバカな役、思えば思うほど悔しいです。

## サウンドトラック

引用 返信 編集

2006/4/1 (土) 00:01:39 - 投稿者: サトミュウジ - <UHH32929@nifty.com> -

ntkngw059038.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [219.97.24.38] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143817299

この掲示板の役割も終り...などと自分で言いながら、パソコンをONにすると、どうしてもここに来てしまいます。未練がましいというのか...優柔不断さでは決して伸木に負けていないようです。

「小早川伸木の恋」のサントラCDが今日到着しました。100名様プレゼントにも当たらず(当選者の発表は商品の発送を以ってかえさせていただくというのは、全く発送していないこともあるそうで)、CDショップに行っても全然見当たらず、ネットで発

注していたものです。「妙子のテーマ」とはどんなんだと思ったら、伸木が初めていった「なおえ」でカナにしどろもどろになって自己紹介しているとき、妙子からかかってくる震える伸木のケータイがアップになるシーンでの曲が主旋律でした。いかにも猜疑心にとらわれているという印象。「伸木とカナ」というのは、おだやかな、私の好きなピアノ曲だったのでうれしくなりました。第6回の冒頭でシャワーを浴びる伸木の脳裏をカナの笑顔が幾重にもかすめるときの悲しげな曲は「取り戻せないモノ」という名前でした。ちなみに「伸木と妙子」とか「カナと妙子」などという曲はありません。これらのサントラが、第10回、最終回ではあまり聞かれなかったような気がします。テレビの「小早川伸木の恋」はやはりまだおわっていません。

## まひるファンの統括

引用 返信 編集

2006/3/30 (木) 00:08:06 - 投稿者: **国やん** - <[kuniyan@yahoo.co.jp](mailto:kuniyan@yahoo.co.jp)> - tky15-p227.flets.hi-ho.ne.jp [220.156.4.227]  
- Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322; .NET CLR 2.0.50727) - No.1143644886

サトミュウジさんのおっしゃるとおりで、もうそろそろ、特設掲示板の役割も終わりに来たようです。

皆さんの気持ちをぶつける場所になればと思い、この掲示板を急いで作ったわけですが、その甲斐あったと思います。とはいえ、管理人は原作を読まずに、「まひるちゃんが出ている」というだけの理由でドラマを見ていただけでした。そんなわけで、議論に加われず、申し訳ありませんでした。

でも、古いまひるファンの僕にとって、「小早川伸木の恋」は別の意味で記憶に残るドラマになりました。作田カナを通して、まひるちゃんの新しい魅力を発見したこと。そして、今までになく、まひるちゃんが多くの人に注目されたこと。宝塚時代からのファンにとって、本当に嬉しかったです。

作田カナで、まひるちゃんは大きな実績を残しました。  
きっと、これからも色々なドラマなどに出してくれると思います。  
映画に出るときも、出番が増えるでしょう.....。

これからも、紺野まひるのことをよろしく願い申し上げます。

なお、掲示板ですが、これから先は「まひるさん応援掲示板」と、  
「隠れ宝塚のひとりごと」の2本に分けて運営していきます。  
「まひるさん応援掲示板」は、まひるちゃんを気に入ってくれた方の  
交流の場にできたらと思っています。  
今後ともよろしく願い申し上げます。

 返信-2

編集

2006/3/31 (金) 01:37:54 - やっちゃん - TYOnni-07p111.ppp12.odn.ad.jp [61.116.12.15] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows 98) - No.1143644886.2

国やん様、こちらこそ、本当にありがとうございました。

私の思い込みだけの投稿を掲載して下さったこと、  
感謝の気持ちで一杯です。

ドラマについて、皆様の思いもそれぞれでしょうが、  
まひるさんを応援しようという気持ちは皆さん同じだと  
思います。

私も、鼻屑の引き倒しになることの無いように自戒しつつ、  
応援したいと思います。

 返信-1

編集

2006/3/30 (木) 21:01:34 - サトミユウジ - <[UHH32929@nifty.com](mailto:UHH32929@nifty.com)> - ntkgw056235.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp

[219.97.21.235] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143644886.1

木曜日。先週まで「小早川伸木の恋」で盛り上がってたんですね。第10回の内容といい、予告の内容といい、カナの幸せだけを祈る立場には不利なことばかり。それでもどんでん返しが必ずあると信じ最後まで見たが、結局は裏切られ、涙が出そうなほど悔しかった。条件付でテレビ版を受け入れるといいながら、いまだに引きずっています。たぶん、カナの笑顔が、ただ綺麗なだけでなく、真に輝くのをみるまでおさまらないような気がします。

国やんさん、本当にありがとうございました。お願いばかりで恐縮ですが、ぜひ、原作に目を通してください。もう一度、ありがとうございました。

## そろそろ.....かな

引用 返信 編集

2006/3/28 (火) 23:16:25 - 投稿者: サトミユウジ - <UHH32929@nifty.com> - ntkngw147121.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [220.147.237.121] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143555385

今日昼食をとっていたら、BGMで「東京湾景」の主題歌が流れてきました。そのあと、月9でも数々のドラマが放送されました。「ラスクリ」なんてあったな、「エンジン」？DVDにコピーするまでもなかったな...06年冬クールドラマの公式HPも撒収にかかっています。国やんさんが用意してくださったこの掲示板も、役目が終わったのかなという気がしています。

この掲示板ができるまで、みんな「紺野まひるさん応援掲示板」に書き込んでいたのですが、「小早川伸木の恋」第9回放送後あたりから急に盛り上がってきました。第9回はカナが幸せに近づいていく内容だったのに、そのときの次回予告で今後の展開に不安を持ったみなさんが続々お越しになったというのが盛り上がりの真相と私は考えています。この掲示板ができてすぐ、あえて「『小早川さんは.....お元気でしたか』は本当

は何を言いたかったか？」などという投稿をしました。事情が事情だけにレスはありませんでしたが、そういう小ネタを語り合いたいと望んでいました。ドラマの結末はもう、それこそ言うまで見ないこと。いまだに立ち直れずにいる方も多いのでは。一番騒ぎまくったモノとして反省していることですが、まひるファンだが原作はまだ読んでいない方々、原作も読んだがドラマはドラマであれでいいのではないかと考える方々が入って来づらい雰囲気を作ってしまったような気がしています。本音としてはもっとにぎやかに、さまざまな意見を聞きたかったのですが。

一番騒ぎまくったものとして、きちんと総括しなければいけないとは思いますが、もう同じことを何回もかきました。エンドロールも流れ1年後のイタリアの盆栽園に伸木が登場すれば満足です。後日談をスペシャル化するなど、全く不要。もし、登場しないなら、あらためて伸木がカナを迎えに行くスペシャルを要求します。

ともに語り合ったまひるファンの皆様、ありがとうございました。  
国やんさん、つぎのまひるさん出演作が決まったらその時点で特設掲示板を設定してください。国やんさんが、掲示板のリニューアルをお考えのようなので、みなさん、そちらでお会いしましょう。

## ドラマの伏線について

引用 返信 編集

2006/3/26 (日) 23:20:12 - 投稿者: やっちゃん - TYOnni-07p367.ppp12.odn.ad.jp [61.116.13.79] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows 98) - No.1143382149

唐突ですが、ある連続ドラマで主人公が最終回に病気で死んでしまう設定だったとしましょう。  
この場合、主人公の健康状態をどのようにアピールすれば、彼(彼女)の死を視聴者は受け容れてくれるのでしょうか？

まあ、ドラマの主題にもよるでしょうね。  
かつての大映テレビのシリーズなら、かなり早い時期に主人公の病気を強調し、視聴者の同情を引こうとするでしょう。

数年前に高視聴率を取った、「白い巨塔」では、控訴審の初期に、財前教授の多忙ぶりを見せ、裁判と癌センターの設立に奔走することで疲弊する姿を映し出し、最終回の二話前くらいに愛人の目の前で倒れ込む姿を強調し、誰の目にも「財前の体調悪し」が分かるように描かれていました。(この辺りビデオを見直したわけではないので、細部に誤りがあれば、すみません)

決して、最終回の直前に財前の病気が発病したのではありません。

このように連続ドラマは、各回に多少の強弱があったとしても、ストーリーの一貫性があるからこそ、連続ドラマたりうるのであり、唐突に話をねじ曲げてしまうと、視聴者は混乱してしまうと思うのです。

ここまで長々とすみません(ここからが本題です。)

要するに、今回のドラマ「小早川伸木の恋」でも、ラストを原作と変えようとするならば、それに沿った伏線をストーリーに張り巡らせておけばよかったのです。

そうすれば、原作に愛着を持つ人も、ある種、別物としてドラマを捉えることも可能です。

今回の「小早川伸木の恋」では第9話までは大枠で原作通りに話を進めておきながら、原作と違うラストにしようとして、唐突に10話で余分なものを入れだしたのですから、視聴者が混乱するのは当然です。

この点で第9話が最終回で、残り二話は蛇足だ、とするサトミュウジ様の分析は誠に正しいものと思います。

これは脚本家の技量もさることながら、全体を統括するプロデューサーに最大の責任があると思います。

最初から何かを描きたいという、ある種の哲学があったわけではなく、BBSで視聴者の顔色を見ながらの場当たりの手法が見え隠れしています。この哲学の無さが今回の失態の最大の原因だと思います。

## 追記

ドラマ「小早川伸木の恋」で紺野まひるさんという素晴らしい女優さんに  
出会えたことは大変感謝しております。

(フジに感謝と書くのは、まだ抵抗があります)

なおさら、あの最終回は悔しい限りです。

私、まひるさんがカナさん以外の別の役を演じたら、多分失望するだろうな、と  
当初は思っておりました。

でも、今回のことでそんなものは吹っ飛んでしまいました。  
変わらず応援を続けていきたいと思います。

そして、まひるさんを応援している多くの方々と出会うこともできました。  
大変感謝いたしております。

また投稿したいと思います。本当に長くてすみません。

 返信-2

編集

2006/3/27 (月) 23:59:53 - サトミユウジ - <[UHH32929@nifty.com](mailto:UHH32929@nifty.com)> - ntkngw051030.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp  
[219.97.16.30] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143382149.2

やっちゃんさんのおっしゃるとおりです。「伸木」製作陣の突然の豹変は、ドラマ史上  
の謎でありつづけることでしょう。カナに対する執拗な攻撃と、異常なまでの妙子擁護  
で一体何をめざしたのでしょうか。伸木の人格もずたずたにされてしまった。

カナ攻撃は最後までやむことはありませんでした。執拗な攻撃に降参したカナが口にし  
た、伸木への別れの宣告、恭介への「幸せは自分で作るもの」という発言も支離滅裂だ  
し、一年後のイタリアの場面の笑顔も、笑顔がきれいであればあるほど悲惨なものに見  
えます。なぜなのか？笑顔の裏づけがないからです。裏づけとは？答えは、原作最終話  
にある「もうわたしの中に鱒沢はいない」という、カナのやや強い調子の言葉にあると  
思います。自分を愛し、育ててくれた鱒沢に対し、十分にこたえていなかったという贖  
罪の意識、遺産相続をめぐる骨肉争いの醜さをまのあたりにして人間嫌いになり、孤独  
に生きることとなったカナはやっと見つけたただ一人の友達・伸木との出会いでようや  
く孤独に終止符がうてるはずだったのに、その機会は失われ、孤独の世界に押し戻され

てしまった。だから、カナの笑顔は作り笑顔にすぎないのです。伸木がいかに淡白で優柔不断でも、永い孤独からカナを救えるのは伸木しかいません。だから、1秒でいいから、最後のイタリアのカットの伸木を立たせてほしかったのです。

無理な展開をさせてきたところに、無理やり原作と同じ場面を設定しても白けるばかりです。原作同様、添田さよりを妙子の床に訪ねさせたが、美村教授が善人になったために、話にインパクトがない。美村が善人になったため、逮捕されたということも取ってつけた話になってしまった。必要以上に善人をつくりあげるため、そのしわ寄せをすべてカナに押し付けた。無念です。

 返信-1

編集

2006/3/26 (日) 23:29:43 - **ただのおじさんです** - p6006-ipad04imazuka.yamagata.ocn.ne.jp [221.184.246.6] - Mozilla/5.0 (Macintosh; U; PPC Mac OS X; ja-jp) AppleWebKit/312.8 (KHTML, like Gecko) Safari/312.5 - No.1143382149.1

全くその通りです。  
下段での私の言い尽くせないことを言って下さいました。  
ありがとうございます。

## フジTV版「小早川・・・」私の最終レポート

引用 返信 編集

2006/3/26 (日) 16:11:32 - 投稿者: **ただのおじさんです** - p6006-ipad04imazuka.yamagata.ocn.ne.jp [221.184.246.6] - Mozilla/5.0 (Macintosh; U; PPC Mac OS X; ja-jp) AppleWebKit/312.8 (KHTML, like Gecko) Safari/312.5 - No.1143356837

少し冷静さを取り戻しましたので、このスレッドをお借りして最終レポートとします。  
次回から、従来からのまひるさんスレッドに戻らせてください。  
その前に、ご配慮下さった、国やんさん、本当にありがとうございます。

先般の過激な不適切な発言に、深く反省しお詫びいたします。  
(すみません、あまりの怒りにワイン1本空けてました)

私見を述べる前に、この掲示板に参加できましたこと、うれしく思います、と同時にここに参加している皆さんは、本当にまひるさんが好きなんだな、こころから純粋に、まひるさんの活躍を願っているんだなあ、と思いました。すばらしい仲間と出会えたことに感謝します。

原作「小早川伸木の恋」とフジTV版の「小早川伸木の恋」について

私は、連続ドラマなんて、今までみたことがありませんでした。ましてや、柴門ふみさんなんて聞いたことも無かったです。で、たまたま偶然に、ほんとにふと「小早川…」を見てしまったのですよ。大体その時間帯は、酒飲んでるか、デスクワークかですので。直感的に、これ我が家のシーンだと感じました。妙子ほど過激ではないが、夫を立てない愚妻、でもきちんと家庭はまもる良妻賢母。たった一人の可愛い娘、で、娘のために離婚に踏み切れない伸木の私がいました。年齢設定は私たちのほうがかなり上ですがね。まったく我が家です。どんなに多くの既婚の男性が、このドラマに自分を重ね合わせた事でしょうか。で、ここでカナという女神が現れれば、必然的にこういう展開になって欲しいという夢を抱くのは当然のことです。優柔不断かもしれないが、医師としての使命を全うする小早川、そして美しく聡明なカナ、そして周囲のいろいろなトラブルに巻き込まれながらも、最後は皆が幸せになる、柴門ワールドの最高傑作だと、私はそう思います。小早川とカナの心の動きが見事に、ときには大人の切ない愛に、また時にはカナの可愛い恋に描かれています。ですからカナが鮎沢の愛人だったという設定も生きてきます。ドラマでの展開は、不和、不倫、別れと再会、離婚、結局別れ、終局の展開でしかありません。これでは登場人物が全く生きてこないのです。フジテレビのドラマ史上最悪のプロデュースのひとつとして、語り継がれることと思いますよ。原作に対する冒涇、読者に対する侮辱以外の何物でもありません。私はここは絶対に許せません。

紺野まひるさんのこと

前段での通り、3話くらいまでは、わが家の実写版として見ていましたが、で、ちょっと待って、え、何、この綺麗な女優さんて誰？で、紺野まひるさんを初めてしりました。あまりにも美しすぎる人ですね。きれい過ぎます。大好きになりました。目の動き、視線の角度、目の開き方ですべてを台詞なしで演じられる女優さんですね。この作田カナはハマリ役と言ってしまえばそれまでですが、凄い演技力を持った女優さんです。でも普段のケラケラ笑う彼女はもっと

キュートで可愛いですし、聡明な女性ですね。宝塚時代のキャリア(それも最初は知りませんでした、すみません)がにじみ出ていますね。大ファンになってしまいました。そしてこのサイトに参加しています。

作田カナー紺野まひる、ラインについて

原作の作田カナがあまりにも美しいがために、その美しさに紺野まひるさんの全てを重ね合わせて、我々は応援していたんですね。ですから、作田カナが紺野まひるさんで、紺野まひるさんが作田カナという、バーチャルとリアリティー間を浮遊していたのではないのでしょうか。ファンなら仕方のないことですし、当然なことです。つまり、それだけまひるさんがカナをパーフェクトに演じきったことになりませんか？我々をここまでカナに感情移入せしめた、まひるさんの演技と力量を再確認すべきです。凄い女優さんです。やっちゃんさんが「・・・私が少しだけ心配なのは、紺野まひるさん御本人のことです。・・・今回のことはご自身もお辛かったと思うのです。それだけではなく、FM東京のラジオのHPの写真を拝見すると、少しお疲れのご様子を感じていましたので。・・・。」この言葉が全てではないでしょうか。

最後です

後味の悪さは、当分引きずりそうですし、ドラマ制作者への怒りは、何があっても忘れません。この3ヶ月間はいったい何だったんだろうとか、見なきゃ良かったとか、若いときの失恋のように胸が苦しいです。でもここでひとつ再確認できましたよね、我々は、紺野まひるさんの大ファンということ、そしてこんなにも仲間がいるということをです。皆でまひるさんを応援していきましょう。まひるさん、いつまでも美しくいてください。

 返信-1

編集

2006/3/26 (日) 22:35:16 - サトミュウジ - <[UHH32929@nifty.com](mailto:UHH32929@nifty.com)> - ntkngw051030.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [219.97.16.30] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143356837.1

ただのおじさんですさん、総括メッセージありがとうございます。お疲れ様でした。正直言って、あなたの最初の書き込みを見て「なにこれ、ひやかしかい。」と思ったのですが、失礼な感想を持ったと反省しています。

私は、まひるさんが演じたカナ像を失いたくないので、苦渋の選択でテレビ版の最終回を受け入れました。その経緯はうるさく書き込ませていただいたので、繰り返しません。後半のかわいそうなだけのカナ、最終回の孤高過ぎる決断をしたカナはあまり好きではないけれど、まひるさんが演じたカナの一面としてうけいれることにします。まひるさんの演技のすばらしさでしょうか、ふたたび伸木の元を去るカナを見て、失恋に似た喪失感を味わいまだひきずっていますが、時間の経過をまつしかないですね。

4月になったらまた新しいドラマ群がやってきます。そうして「小早川伸木の恋」も過去のドラマとしてうもれていくのでしょうか。まひるさんには女優として飛躍する次のステップがあります。早く主役がはれるよう、みんなで応援しましょう。

## 赤名リカと作田カナ

引用 返信 編集

2006/3/26 (日) 09:25:42 - 投稿者: サトミユウジ - <UHH32929@nifty.com> -  
ntkngw051030.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [219.97.16.30] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143332742

柴門ふみさんの原作に基づく「東京ラブストーリー」は1991年1～3月クールのみでしたから、もう15年も前のドラマになります。5人の男女が織り成す恋物語でしたが、まひるさんはそのとき13歳？このドラマを知っている人はみな、いい年のおじさん、おばさんになっていることでしょう(オメエもそうだろう？おっしゃるとおりです)。

ヒロインは赤名リカ。織田裕二さんが演じるカンチは、性格が両極端の赤名リカと関口さとみの中で揺れ動き、結局さとみを選び、リカは社命でロサンゼルスに赴任することになりカンチのもとを去ります。カンチのふるさと松山を訪ね、追ってきたカンチと約束した電車よりひとつ早い電車でその場を後にしたりカカの孤独が見るものの涙を搾ったものでした。

こちらの原作は読んでいないので、テレビ版同士で論じるしかありませんが、作田カナの設定と似てるともいえるしぜんぜんちがうともいえるし。自分なりになつかしのドラマを検証してみたいとおもいます。いつ結果が出るか分かりませんが...

## 割り切れなさに封印

引用 返信 編集

2006/3/26 (日) 01:49:30 - 投稿者: サトミュウジ - <UHH32929@nifty.com> -  
ntkngw078062.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [220.145.118.62] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143305370

来てくれる人が少なくなったな。

前回まで、録画しておいて、終わったらすぐCMカットを兼ねてレビューしていたのですが、最終回はなかなかその気になれず、先ほどやっとそれことができました。前回から、「おまえだけは絶対に幸せにしてやらない」との強い意志を持ったものがカナを攻撃しまくり、最後に強烈な刺客を放ちました。その刺客の名はみすず。かつて、包丁を持って暴れる母親を冷静に見ていた(普通あんなの見たら泣くよ)6歳の女の子が3歳ぐらいに退化して、ホラー映画さながらにカナを襲う。伸木の病院で、伸木の部屋で。そして調停を前に伸木が京都を訪れたとき、カナに致命傷を与えた。

その強烈な意思の手先だった製作陣もさすがに良心が咎めたようで、カナは別れの決意をしても、完全に伸木をリセットで消したのではなく、封印したにすぎないという画面作りをした。また、仁志恭介をして「子供を踏み絵にはいけない」と言わしめたことも評価している。

それにしても、伸木のなんと淡白なことか。以前も「夢を見たのよ。忘れて」と言われたことがある。「夢はいつかは醒める。夢は夢のままで大切にとっておきたいからお別れしましょう」とカナが言ったとき、みすずという刺客にやられたと見抜けなかったのはやむをえないにしても、「あなたはそれでいいのですか」はないだろう。「私もあなたが好きです、そしてそのあなたがここにいるのは幸せであり、決して夢なんかじゃない。夢はとっておくものではなく、実現するものです。醒めないように守らなくちゃいけないんです。だから、そばにいてほしいんだ」とどうして言えなかったのか。でも私は、伸木だってカナをリセットすることはできないと、感情的だがそう思いたい。そうでなければ、調停はあのように進まなかったろう。伸木の淡白さは批判しても、イタリアのあのシーンに伸木が立ちさえすれば2人の愛はよみがえる、と信じる根拠はここにあります。

もう放送は終わってるし、どうかんでみても、製作陣にとってかわることなどできやしない。第9回で終わってしまったという気持ちは消せないが、あえてそれを封印し、あくまでテレビ版「小早川伸木の恋」最終回として受け入れようという思えるようになりまし。そう思わないと、例の「なおえでの一夜」以前の大好きなカナが生きてこないから。

まだ、投稿を続けたいと思います。この拙文へのコメントをいただければ嬉しく思います。もちろん、批判でもけっこうです。

 返信-1

編集

2006/3/27 (月) 00:28:02 - やっちゃん - TYOnni-07p535.ppp12.odn.ad.jp [61.116.14.55] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows 98) - No.1143305370.1

確かに、ドラマ版の伸木って、淡白というか、薄い感じしますね。  
美村教授が消えてくれたおかげで、小児外科をやれるし、  
調停では仁志弁護士のおかげで妙子は改心するし。  
(でも弁護士って、あんなに個人的な思いを独白していいんでしょうか?)  
あまり、自力で獲得していないんじゃないかと。

カナさんの言葉も素直に受け容れすぎるし。そんなに簡単に諦めるのなら、「そばにいて欲しい」なんて言うなよ、って。  
やっぱり、覚悟が無かったんでしょうか？

## 心の傷は自分で癒そう

引用 返信 編集

2006/3/24 (金) 22:28:42 - 投稿者: サトミユウジ - <UHH32929@nifty.com> -  
ntkngw147064.kngw.nt.adsl.ppp.infoweb.ne.jp [220.147.237.64] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; Q312461; SV1; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143206922

みなさん、そろそろ事態を收拾しましょう。この掲示板にくる人の共通項は、まひるフ

ァン、カナファン、そして「小早川伸木の恋」の原作をよみ、カナ＝まひるさんに感情移入しているということでしょう。私もそうです。昨日の最終回を見て、喪失感、失望感に落ち入れられた人がほとんどでしょう。傷ついたでしょう。しかし、あの結末に怨嗟の言葉を書き連ねても事態はどうなるものでもありません。せっかくこの掲示板を特設して下さった国やんさんにも申し訳ないのでは。

自分を、原作を読んでいない身に置き換えてみましょう。原作を読んでない人の感想に耳を傾けてみよう。なにか、違うものの発見があるかもしれない。

イタリアに行くなど、荒唐無稽かつ奇想天外だと思っていましたが、それを逆用できないでしょうか。カナは自分で身を引いたが、もう2回目だ。今度は置手紙などせず「夢は夢のままに」などといって、きっぱり言葉で別れを告げた。しかし、身を引く決意のきっかけは、同じようなもの。京都に身を隠していたとき、忘れようとして忘れられなかったものは、イタリアに逃げたって、やはり忘れられないものであるはず。2度身を引いたなら、再会が2度あってもいい。夢は夢のままであってはならない。夢は実現させなければ、意味はない。

イタリア某所の日本式盆栽ショップの風景、次のように続けられなかったか。

カナ：「チャオ」  
背後に伸木が立つ。振り向くカナ。  
しばらく見つめあう

このシーンに言葉はいらない。強いてやるなら、伸木に「やっと迎えに来れた」といわせるか。言葉がなくともこのシーンは今後の展開のすべてを物語る。離婚も円満に解決し、今の伸木には後顧の憂いはない。カナを迎えにいても誰もきずつくことはない。ほんの数秒のシーンをなぜ入れられなかったのか。この数秒のシーンがあればわれわれはどれだけ救われたことか。カナの帰国を待つ伸木がたまたま別れた女房と会ってメシ食ったってどうってことない。

だから、わたしは、数秒のこのシーンがあったことにしようと思うことにしました。こう思うと楽になる。国やんさんが期待するように、「小早川伸木の恋」についていろいろ話せると思えるのです。

ももこさん、あなたはどんなふうにイメージしていますか？

ふざけるな！と思う方も多いでしょう。でももう、いつもの自分に戻りましょう。

 返信-3

編集

2006/3/25 (土) 01:30:17 - やっちゃん - TYOnni-10p441.ppp12.odn.ad.jp [61.116.34.185] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows 98) - No.1143206922.3

思いを整理するには人それぞれです。

でも、宝塚時代からのファンの方からすれば  
まひるさんの宝塚退団という、もっとツライ事態に直面されたのですから、  
昨日今日のファンである私の不満など、モノの数ではないのかも。

少しだけ余裕を持ちたいと思います。

私はドラマ「小早川伸木の恋」は10回をもって、未完のまま終わった、  
という思い込みにしょうかな、と思っています。結末は皆様の夢の中で、  
ということ。

原作の結論で終わるもよし、放送されたものを受け容れるもよし、  
全く違う結末を妄想するもよし。

これなら、カナさんのセリフ「夢」にも矛盾しないし。

ちょっと、強引でしょうか？

 返信-2

編集

2006/3/25 (土) 00:45:42 - ももこ - ZK255172.ppp.dion.ne.jp [222.5.255.172] - Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; FunWebProducts-AskJeevesJapan; .NET CLR 1.0.3705; .NET CLR 1.1.4322) - No.1143206922.2

こんばんは！私も大夫、気持ちが落ち着き、前向きに考えるようにしてます。  
国やんさんの『夢だったんです』のコメントに返信しましたが、伸木は離婚している  
し、2人はいつか必ず再会し、そして今度こそ離れないと…。

サトミユウジさんのコメントにも救われました。  
これからもまひるさんに注目し、応援していきます。  
これからもよろしくお願いします。

 返信-1

編集

2006/3/25 (土) 00:30:35 - 国やん - <kuniyan@yahoo.co.jp> - tky15-p227.flets.hi-ho.ne.jp [220.156.4.227] -  
Mozilla/4.0 (compatible; MSIE 6.0; Windows NT 5.1; SV1; .NET CLR 1.1.4322; .NET CLR 2.0.50727) - No.1143206922.1

いえいえ、管理人に気を遣わずに話してほしいから、  
あえて特設掲示板を作ったんです(^-^)  
だから、思いのままに話してください。

不満を感じたらどこかにぶつけないと。

宝塚でもよくあるんですよ。  
作品に対して不満をぶつけたくなることとか。  
だから、ドラマに対しても不満をぶつけたくなる  
気持ちって、よくわかります。

全37件(返信記事を除く) | ページ間移動 [ 1 3 4 ]

最大100件保持 | 投稿レポートON | [管理者宛てEメール](#) | [?ヘルプ](#)

